

長崎市立南長崎小学校

令和3年12月3日

子どもとの関わり方（家庭でできること）

～どの子にも，誰にでも当てはまること～

○ 生活面での自立が，1番大切です！

最近の子どもたちの特徴として，学校の勉強はうまくこなすものの，基本的な生活習慣が身に付かないまま成人期を迎えてしまうことが少なくないと言われています。

あいさつ，礼儀，整理整頓，金銭管理，身だしなみ，忘れ物をしない・・・

などは，自立に欠かせない，とても大切なスキルです。将来を見据え，幼少期から日常生活の中で，計画的に取り組んでいくことが大切です。

まずは，お手伝いに取り組ませてみましょう。（既にやっている子どもも多いと思いますが）洗濯物たたみ，食事の配膳・後片付け，食器洗い，自分の机の整理整頓，家族の靴並べ・整頓，ゴミ出し，お風呂洗い，掃除など，できそうなことから始めましょう。



子どもたちだけで行うことが難しい場合は，初めは一緒に取り組んで，やり方を教えるところから始めましょう。そして，徐々に援助を減らし，1人で取り組めるようにしていきます。やり方を覚えた時や1人でできた時には，すかさずほめて意欲を高め，子どもたちが意欲的・積極的に，楽しく続けて取り組めるように心がけましょう。「ごほうびシール」など，結果（成果）を目に見える形で表してあげることも有効だと思います。

○ 行動面での関わり方



子どもたちの特性は，目に見えないものなので，困難さなど，周囲の理解を得ることが難しく，学校生活だけではなく，将来自立し，社会生活を送る際にも問題になってきます。これまでの子どもたちを見てみると，特に，就職後が大変なようです。子どもたちは，頭ではわかっているけど，未経験のことについては，実際の場面でうまく対応できないことがあります。（これは，私たち大人でも同じことですよね。）

社会に適応する力を身に付けるには，本人の特性を生かしながら，人間関係をスムーズにしていくための対応の仕方を身に付けさせていくことが大切です。

様々な体験をしていく中で，考えさせながら「行動の自己調整・自己制御の方法」を身に付けさせることも必要です。

しかしながら，子どもたちが自己制御力を身に付け，パニック，多動など行動面の問題を克服していくのは簡単なことではありません。また，無理強いや周囲の焦りは，かえって逆効果になることもありますので，じっくりと取り組むことが必要だと思います。

また，本人がストレスを少しずつ発散でき，親子共に精神的に安定できる場を作ること，忘れてはいけない大切なことです。